



七里小学校
学校だより
第6号
R8.5.25
文責:若林



読み聞かせ

5月20日、今年度も朝の「読み聞かせタイム」がスタートしました。絵本による新たなお話の世界との出会い、そして、何よりも読み聞かせをしていただく方との出会いが子どもたちにとっての楽しみとなっていると感じました。

第1回目は、1・2年 津野美乃里さん、3・4年生 中平美知子さん、5・6年生 甲把麻由子さんに行っていました。ありがとうございました。



1・2年生



3・4年生



5・6年生



読もっかに掲載されました。(4年 野村羽純さん)

1年生のころの日記

★四万十町・七里小★

お母さんの1年生のころの日記を見ました。まず1ページ目には、お母さんの弟へのもんくが書かれていました。弟はたんすにのぼったり、おちやをこぼしたりします、と書かれていました。

読んでいると、弟はクレヨンで口をぬりますと書かれていて、つぎのページを見ると、私もやりますと書

いてあったので、お母さんといっしょにわらいました。

ページをすすめると、おりがみをつくったとありました。つるとおにをつくったと書かれていたので、おにをつくれるのはすごいな、と思いました。

そのあと、お母さんに「おにをおって」と言ったら、「わたしおぼえてないき、むりよ」と言いました。お母さんの日記はとてもおもしろかったです。(4年、野村羽純記者)

子どもたちが書いた作文や日記を高知新聞の読もっかに投稿しています。今年度も次々と掲載されています。学校の玄関に掲載された記事を掲示していますので、学校に来られたときにご覧になってください。

←日常の家族での会話ややり取りを楽しんでいる様子がステキですね。



いものつるさし

PTAの役員さんを中心に畑の草刈りや畝づくり、マルチ張りを行っていただきました。おかげで、無事1・2年生がいものつるさしを行うことができました。お忙しい中、また、雨の中



ありがとうございました。